

社長のための「ええとこ」探し

(知的資産経営支援セミナー)

主催 大阪府商工会連合会、尼崎信用金庫

●知的資産経営とは？

「技術」「工夫」「人材」「協力先」など、『見えない資産(ええとこ)』を「知的資産経営報告書」に整理し、ステークホルダーに『魅せる化』することで、今までと違った視点で企業を見てもらえることになります。

今までにない新しい経営手法ですが、下記のような効果が表れています。



◆技術力をアピールできたので、新規顧客が獲得できた！

◆協力会社に情報開示することにより、パートナー強化に繋がった！

◆社員と一緒に作ることで、組織の意識改革につながった！

■日時 平成29年9月5日(火) 14:00～17:00(途中休憩あり)

■内容 ①知的資産経営の勧め
②事例紹介
③パネルディスカッション

■場所 尼信ビル10階会議室(1階 尼崎信用金庫 大阪支店)
住所: 大阪市北区西天満4丁目13番8号
TEL 06-6362-7031(会場)

■受講料 **無料**

■講師 OCSコンサルティング代表
伊藤 康雄氏(中小企業診断士)

有限会社ツトム経営研究所
森下 勉氏(中小企業診断士)



【講師プロフィール】

大学卒業後、(株)ジャパンタイムズを経て、平成20年経営コンサルタント業開業。専門分野は営業力強化、組織変革支援および事業再生支援。知的資産経営をベースにした企業の経営力強化支援に定評がある。モットーは、「誇りを持って生きいきと働くことのできる職場作り」著書(共著)に「事業再生の実務」(第一法規株式会社)など。



【講師プロフィール】

医薬品メーカーで27年勤務後、平成12年に独立。平成14年に(有)ツトム経営研究所を設立。中小企業の経営戦略立案、情報化戦略の推進支援 ISO 認証支援のほか、知的資産経営支援に関する第一人者として豊富な支援実績のもとに多方面で活躍中。経済産業省と金融庁が進めている事業性評価ツール「ローカルベンチマーク」の構築と周知にかかわっている。『顧客を知る』がキーワード。

※知的資産経営とは？

「知的資産」とはバランスシートの数字の源泉となるものの、バランスシートには表れない無形の資産です。具体的には**経営理念・組織力・人材・技術・特許・ブランド・顧客とのネットワーク**等、目に見えにくい経営資源の総称を言いますが、多くの企業は自社の知的資産を必ずしも意識的に活用できていない、また、外部の評価者にとっても企業の知的資産に関する情報を十分に把握できていないのが現状です。

「知的資産経営」とは、「知的資産」を強みとして認識し、その強みを経営に生かす方法であり、「知的資産経営報告書」は企業の知的資産を目に見える形にした報告書として企業価値をアピールする、関係者とのコミュニケーションの促進に役立つものとして注目されています。

■お問い合わせ先■

- 大阪府商工会連合会 (TEL 06-6947-4340)
- 尼崎信用金庫 各取引支店
(または 経営相談コーナー TEL 0120-05-4506)

参加申込書

このままでFAXしてください。

送付先 大阪府商工会連合会 FAX (06-6947-4343)

※参加人数は一社複数でも結構です

事業所名			
所在地			
参加者名	TEL	—	—
	FAX	—	—
	Mail		

※本申込書にご記入いただいた個人情報につきましては、講座運営に関する連絡、各種講座情報提供の目的にのみ使用します。